

交流団訪韓フオトルポ

# 未来志向の日韓交流促進へ

# 日韓観光・経済交流団360人、全羅南道「木浦」を訪問

6月10～12日、全国旅行業協会、日本旅行業協会、日本観光振興協会などで構成する日韓観光・経済交流団が韓国・木浦、ソウルを訪れ、日韓の友好を深める交流行事を行った。未来志向の日韓交流を促進するため、交流団には観光業界などから約360人が参加した。観光やスポーツ、青少年交流などを通じて友好関係を発展させ、2018年には日韓相互交流1千人の目標達成を目指す。交流団の主な活動を写真で紹介する。



## 交流会(木浦)



仁川空港では平昌五輪マスコットがお出迎え



交流団が韓国高速鉄道(KTX)で木浦駅に到着



ホテル現代で交流会を開催

## 日韓友好の夕べ(ソウル)



ロッテホテルで晩餐会



日韓関係者450人が乾杯



二階幹事長へプレゼント贈呈



韓国伝統楽器を使用したライブ演奏



朴寛元ハクチウォン国会議員



あじふのこ 二階幹事長



珍島郡立民族芸術団による公演

## 共生園訪問(木浦)

日韓観光・経済交流団は11日、社団法人尹基(ユン・ギ)会長は韓国西部の全羅南道・木浦にある「共生園」を訪問した。共生園は田内千鶴子(チソク)夫人、尹鶴子(ウンスク)夫人、尹鶴子(ウンスク)夫人が孤児たちの養育をした施設。1991年に高知県で生まれ、28年に木浦でキリスト教の伝道師と結婚。88年に亡くなるまで約3千人の孤児を育て上げた「韓国孤児の母」と呼ばれている。83年に韓国政府から文化勲章を受け、民間大使として日韓の架け橋となった。木浦市内で開催された交流団の歓迎会で田内さんの長男で共生園好を願う風船飛ばしをした。

社団法人尹基(ユン・ギ)会長は「日韓友好のために生きることが大事」と思いの継承を訴えた。交流団長で、自民党の二階俊博(ニノイ ヒロユキ)や課題などを解決し、日韓友好への役割を果たす」と語った。2016年10月に全羅南道と姉妹協定を締結した高知県の尾崎正直(オノキ ナオナカ)知事は「全羅南道との友情を継ぎ、草の根交流を続け、日韓関係の発展に貢献したい」と述べた。また、交流団は共生園内の見学や記念植樹、記念館の観覧、日韓友好を願う風船飛ばしなどを行った。



日韓観光・経済交流団360人が共生園を訪問

## 顕忠院訪問(ソウル)



国立墓地の顕忠院を訪問



慰霊する交流団一行



尹基(ユン・ギ)氏



尾崎正直高知県知事



共生園児童による合唱



世界孤児の日 制定推進広報動画を鑑賞



共生園の子もたちと触れ合う二階幹事長



二階幹事長らによる記念植樹